

茨城初の女性教師 黒澤止幾子

展 示

2010年7月21日(水)～8月3日(火)
月-金 9:00～17:00 (土・日11:00～17:00)

茨城大学図書館 1階展示室



止幾子自筆の和歌などの書や止幾子が
使用した文机、硯などを展示します。

協 力

茨城県立歴史館
城里町立郷土資料館

展示・講演会とも
入場無料

記念講演会

7月24日(土) 13:30～15:30

図書館会議室

長谷川良子氏 (茨城県立水戸高等養護学校教諭)
「黒澤止幾子の生涯」

齋木久美氏 (茨城大学教育学部准教授)
「寺子屋の師匠としての止幾子」

大澤敏男氏 (黒澤止幾子顕彰会会長)
「黒澤止幾子資料の保存について」

当日は茨城大学オープンキャンパスを開催しています。
公共交通機関でお越しください。



84歳の止幾子(明治22年)

黒澤止幾子

文化3年(1806)、常陸国水戸藩領茨城郡高野村(現在の茨城県東茨城郡城里町錫高野)生まれ。名は「止幾」「とき」「登幾」「登幾子」「時子」「と起子」など。雅号は「季恭」。

26歳で夫と死別後実家に戻り、行商で生活を支える一方、俳諧や和歌など学問に励み、安政元年49歳で実家の寺子屋を継いだ。

安政6年、54歳のとき安政の大獄で塾居を命じられた前水戸藩主・徳川斉昭の無実を朝廷に直訴しようと単身京都へ赴き、朝廷に長歌を献上するも大阪で幕府方に捕えられ、取り調べの後追放され帰郷する。

明治5年、学制発布で寺子屋だった自宅が小学校に指定され、66歳で茨城初の女性教師に任命された。退任後も私塾を開き、明治23年(1890)、85歳で没するまで郷里の子弟の教育に情熱を注いだ。

寺子屋であった生家は現在も保存されている。



茨城大学図書館へのアクセス

常磐線水戸駅から茨城交通バスで約30分。
水戸駅北口バスターミナル7番乗り場より
栄町経由「茨大行」にて「茨大前」下車。
公共交通機関をご利用ください。



お問い合わせ先

Tel. 029-228-8076 (平日9:00～17:00)
Mail. ser-lib01@mx.ibaraki.ac.jp